

VOL.142

農協からのお便り

1
2020

グリーン
Green
地域と農業をむすぶJA広報誌



健やかな
年になりますように

新春

令和



年頭にあたり

上川中央農業協同組合
代表理事組合長

野口昇

十二支の始まり子の年の幕開けを健やかにお迎えのことと存じます。また日頃の農協事業への格別の御厚意に対しても心より御礼申し上げます。植物の例えとして、

万物の滋る芽生えがある事とされ、そこに生き物の「ねずみ」が割り当てられたのは繁殖能力が高い生き物として子孫繁栄や拡大を意味することにあるとされています。

去年を振り返りますと全国的に豪雨や台風・河川決壊による大きな災害が発生した年でした。

多くの同胞の尊い命が失われ心より御冥福をお祈りします。また収穫を目前の農産物も多大な被害に見舞われました。

そのような中で北海道に於いては大きな自然災害の痛手を受けることのない一年だったと言えるのではないのでしょうか。災害に遭われた各地の仲間の一日も早い復興・営農再開を念じて止みません。

令和元年度の農協取り扱い農産

物の出来高について触れさせて戴きます。

本年度の水稻の作況指数は北海道全域平均では一〇四、上川地区では一〇五と示され愛別・上川それぞれ去年実績を上回る集荷を頂きました。しかし、地球温暖化の影響は北海道にも当然のこととして起こり、三〇℃超えの夏日が続きその影響は当農協の水稻から園芸作物・馬鈴薯・大根にまで及び何らかの被害をもたらしています。

総じて量は確保したが品質・販売価格で苦慮した一年と言えるのではないのでしょうか。この高温傾向は今後も恒常化する傾向にあります。その対処法が求められます。

そして「TPP11」「EPA 欧州経済連携協定」に続いて「日米貿易協定」が参院本会議で承認され本年一月一日の発効に向けて動き始めました。牛肉や豚肉・チーズなどの米国産農産物の関税率も「TPP」並みに下がることとなりま

した。政府の農業対策が畜産・酪農の強化に向けたものとなるか注目されます。国内では生乳単価・牛肉単価は高値安定水準が持続しています。貿易協定発効からの時間の経過がどのように作用するのかが予断を許しません。

最後にきのこについて書き添えます。「えのき」栽培施設の改修工事がほぼ終わり、この後は「なめこ」栽培システム改良工事が計画されています。産地としての強固な足場作りを地元農協として援助できればと思っています。

消費者の米消費量も一人当たり六〇キロを切り都市部での外食産業への人の流れも一般化しています。変化に対応する組織が求められています。変化に痛感しております。組合員・準組合員の皆様の更なる御愛顧を願い、最後に御家族の益々の御健勝・ご活躍を御祈念申し上げます。

謹賀新年

代表理事組合長	野口昇
代表理事常務	木村悦明
理事	大村正利
理事	岩城一憲
理事	辰巳眞
理事	青木光晴
理事	武田明彦
理事	伊藤章一
理事	昔農昌人
理事	松岡康弘
信用担当事務兼金融部長	高橋勝彦
代表監事	関行男
監事	田中敏明
員外監事	川崎進





令和2年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会
代表理事会長 飛田 稔章

組合員並びにJA役職員の皆様には、輝かしい令和2年の新年を迎えられたものと心より、お慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先に道内各地において強風に見舞われ、広範囲にわたり農業被害が発生し、一部蒔き直しが必要になった地区も発生しました。

その後は干ばつ等もありましたが、天候は順調に推移したことで収穫も進みました。お米の作況指数が104の「やや良」、小麦、てん菜は平年作以上となる結果となり、生乳は良質な飼料作物確保による安定的な生産が見込まれ、作目によって違いはありますが概ね良い出来秋を迎えることができた

と感じております。

しかしながら、全国的には8月末に発生した九州北部豪雨や、9月、10月と東日本を中心に大きな被害をもたらした台風15号、19号など、大規模な災害が発生した年となりました。

北海道においても一昨年、胆振東部地震により多くの支援を頂いた経過にあり、JAグループ北海道として全国連と協力し積極的に支援をして参りたいと考えております。

国際貿易交渉については、昨年2月1日に日EU・EPAが発効となり、日米貿易協定は昨年10月に署名がなされ、国会審議を経て12月4日に承認案が可決されました。日米貿易協定の影響試算では、1,100億円の生産減少額のうち3〜4割が北海道への影響とみられており、JAグループ北海道として北海道農業への影響を最小限に食い止める対策や、生産者の

不安を払拭することを昨年より国等に対して要請を行っております。今後も動向を注視し、北海道農業が犠牲とならないよう毅然とした対応を求めてまいります。

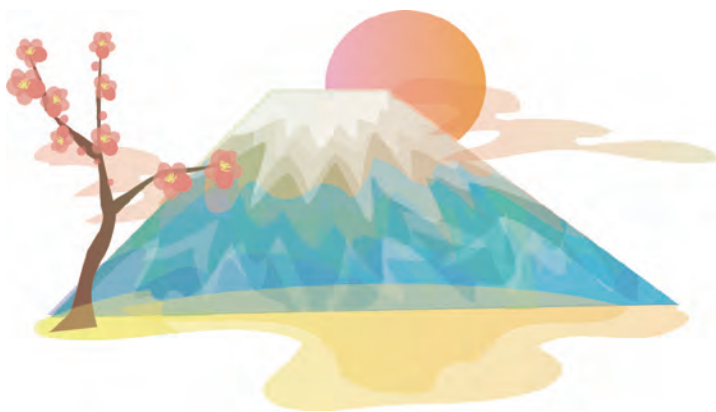
さて、JAグループ北海道は、昨年11月12日に第29回JA北海道大会決議事項の実践事例や現状の課題を、JAグループ全体で共有すること、内外に実践状況を発信すること目的として、JA北海道大会実践フォーラムを開催したところです。

引き続き、組合員・JA・連合会・中央会が一体となり、大会決議事項の実践に取り組み、基本目標の達成につなげてまいります。

結びになりますが、今年の干支は庚子（かのえね）です。子には、「かえる・しげる」の意味があり、種子の中に新しい生命がきざし始める状態だといわれています。

今年はこの庚子年にあやかり、農業にとって輝かしい未来が芽生

く年となること、併せて北海道農業並びに組合員、役職員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます、新年にあたってのご挨拶といたします。





新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましてはお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年度は令和という新元号になり、気持ちあらたに、新生・上川中央青年部、合併2年目を迎えました。

昨年の青年部活動を振り返ってみますと、5月に農場巡回・豊稗祈願祭を同日に開催しました。農場巡回では、愛山地区・上川（菊水・旭ヶ丘）地区を回り、部員が普段どんな思いで農業をしているのか、現場を見ることで互いを知ることができました。

また、収益事業としまして7月に愛別夏祭り、9月に愛別きのこの里フェスティバルに青年部として出店し、忙しい時期にもかかわらず、たくさんの部員の協力もあり、多くの方々に上川・愛別の農畜産物をPRすることができました。

今までの支部活動の意識を取り

除き、お互いの地域を自分のことのように理解し、積極的に参加することで上川中央青年部が1つになれるよう今後とも事業を行ってまいります。

上青協事業にも積極的に参加しました。今年度は愛山地区の高田峰雄さんが会長に就任。高田会長のリーダーシップのもと、上川管内の盟友と共に学び、交流し知識・見聞を広める活動を行っております。

青年部・女性部合同事業である「かみかわ農業祭2019」では昨年より多い4,600人の方に来場していただき、上川管内の農畜産物のファンになっていただけただけではないでしょうか。

11月の青年部大会では、佐々木孝志くんが「私を照らしてくれた太陽」と題し、青年部に対する熱い思い、大切さを堂々と発表してくれました。

町を超え、上川管内に上川中央青年部の存在感を示し、協議会を

けん引する高田会長の背中には誇りにも思いますし、その姿から多くのことを学ばせていただいています。これからは1人でも多くの部員が後を継ぐ農業人になれるよう、お互いが切磋琢磨しながら青年部活動をしていきたいと思っています。

「この上ない愛」というスローガンは今や上川管内に浸透しつつあります。青年部に限らず、協議会でも部員・盟友減少が課題となっていますが、部員同士の「愛」を大きく育てて、上川中央青年部がONE TEAMとなり、地域を盛り上げていけたらと思います。

今後も青年部活動にご理解ご協力をお願い申し上げますと共に、皆様にとって実り多き年となることをご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



謹賀新年

部長	佐藤直哉	(東雲)
副部長	鉢呂健人	(愛別)
理事	成田真市	(中央)
理事	大野真治	(中央)
理事	辰巳裕亮	(菊水)
理事	沼田義弘	(愛別)
理事	佐々木孝志	(愛山)
理事	遠藤雅大	(東雲)
監事	阪本航大	(菊水)
監事	笠松健太	(菊水)
監事	奥典大	(金富)



新年のごあいさつ

JA上川中央女性部上川支部
部長 辰 巳 明 美

あけましておめでとございます。部員の皆様方におかれましては、ご家族の皆様方と健やかに新しい年をお迎えの事とお喜び申し上げます。また旧年中は、女性部活動に対して格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は元号も平成から令和に代わり、その儀式は重々しく静寂のなか日本絵巻から抜きんでた様な、十二単の皇后さまや天皇陛下のお姿をテレビの画面から拝見し、昭和・平成・令和と受け継がれて時代の流れを感じました。

農産物においては、天候にも恵まれ全般にどの作物も作柄が良く、皆さんの努力の結果良かったのではないかと思います。一方道外では豪雨や台風において甚大な被害を受け、世界で一番自然災害の大きかった国は日本だったと発表されたほど、自然災害の大きかった年でした。被害を受けた皆様方には心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早く復興される事を祈っています。

昨年の女性部活動につきまして、2月に愛別上川女性部による合同宿泊研修会を東神楽の花神楽で



新年のご挨拶

JA上川中央女性部愛別支部
部長 藤 村 仁 美

希望に満ちた新春を、ご家族様おそろいでお迎えのことと、お慶び申し上げます。

皆様方には、婦人部活動に対し、ご理解とご支援、ご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、台風の被害が甚大でした。北海道は、なんとかまぬがれましたが、自然の驚異には、どうにもならないと思いはらされました。それでも秋にはよい秋でした。

7月には、1日研修旅行があり、札幌アサヒビール園と、くるるの杜に行きました。多くの方々の参加で楽しい1日を過ごす事ができました。スノードーム作りも行いました。思い出をビンに詰める様な、これも参加していただき、初めての行事でしたので、本当にありがとうございました。

8月には、当麻でのBブロック研修会でフラワーアレンジと集荷場の見学をさせてもらいました。

12月には、小学校で食育の授業を3日間にわたり、昔農さんを中

心におこなう事が出来ました。本年も、楽しい行事を考えて行こうと思っておりますので、いろいろなアイデアを出して下さいね!!

JAや役場、その他関係機関の皆様にご指導いただき、大きく羽ばたく一年となりますよう、ご祈念申し上げます、年頭のご挨拶と代えさせていただきます。

謹賀新年

上川支部	部長	辰 巳 明 美
副 部 長	遠 藤 初 美	
副 部 長	石 山 小 百合	
副 部 長	菊 地 由 紀子	
監 事	阪 本 由 美	
愛別支部	部長	藤 村 仁 美
副 部 長	前 佛 明 美	
理 事	三 浦 恵 子	
理 事	藤 原 幸 子	
監 事	矢 部 香 津子	

するーらいふ 2章

「柳田の堪忍袋〜この碁盤さえなかったら」

近世以前には12月13日を煤払いの日と決めていた地方が多かった。最近では大晦日近くにするようになったが、家の暖房や料理に炭火や薪や行灯を使っていたため当時は大掛かりであった。哀しいかな今では大掃除で使う「はたき」や「竹箒」の存在すら分からない世代も多くなった。浪人の柳田格之進は大店越前屋に招かれて碁を囲んだ。離れの屋敷で二人きりの優雅な時間を過ごした。



柳田が帰った後で、手代の久兵衛が集金して主人に渡した百両が紛失していた。全員で探し回ったが屋敷内の何処にも百両は見つからなかった。疑った手代の久兵衛は長屋暮らしの浪人柳田格之進を訪ねた。充て布の着物を身に纏う、娘が差し出した茶に手をやりながら久兵衛は格之進に百両の件を問質した。

「知らない」の一言で終わる話だと格之進は襟を正した。久兵衛は引き下がる訳にはいかなかった。「知らないと言うのならお上に訴える」と迫った。当時の浪人は弱い立場にあり娘の身なりから、親娘の生活の困窮振りが伺い知れた。しかし痩せても武士の端くれとの気概が柳田にはあった。また少しでも疑念を持たれたと言うことへの苛立ちを覚えた。

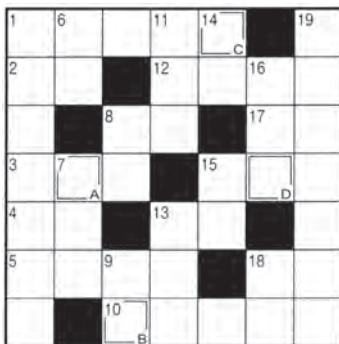
柳田は「金は明日までに作る」と言い、翌日訪れた手代の久兵衛に約束通り手渡した。身に覚えのない疑念を掛けられた事を恥じたが金を手渡す時に「万が一、金が他から出て来たら、貴様と主人の首を貰う」と格之進は言い放った。そして12月13日越前屋でも恒例の煤掃きが職人総出で始まった。すると格之進と主人が離れで碁を打ったその部屋の欄間の額の裏からお金が出て来たのである。

越後屋の主人は愉しむ碁の邪魔になると手代の久兵衛から預かった百両を欄間の額の裏に忍ばせたのである。碁打ちが終わったら懐に納めるつもりであったが、碁に夢中になりそのことはすっかり忘れてしまった。

久兵衛はこの成り行きを詫びるために柳田格之進を探した。あの時に格之進が渡した百両は可愛い娘が父の為と吉原に身を売って作ったものだった。詫びる久兵衛を睨み格之進は言った。「娘の気持ちを思うと二人の首を見せなければ申し訳が立たぬ」と、そして脇の刀を抜いた。柳田格之進の刀がきらりと光り真二つになった。しかし真二つになったのは勿論碁盤であった。この碁盤さえなかったらとの想いが格之進に沸き起こった。

最後までオチを見せない「柳田の堪忍袋」の講談話から派生した、年の暮から新年に演じられる人情噺の一席である。

パズル? 頭の体操



タテのカギ

- 1 「生業生米生卵」とか「東京特許許可局」とか
- 2 夫の配偶者です
- 3 生まれたばかりの赤ん坊のこと
- 4 ゆっくりつかって「極楽、極楽〜」
- 5 剣や弓矢、大砲などのこと
- 6 首の後ろ側の部分
- 7 ーそのんでなりゆきを見守った
- 8 刑事を意味する俗語
- 9 お酒は飲めない体質です
- 10 こたつに収めよう果物
- 11 びの記号で表すことも
- 12 だて巻き、数の子、黒豆などを重箱に詰めて用意します

ヨコのカギ

- 1 元日の寺社が混雑する理由
- 2 重峰も銀峰もこれです
- 3 バイオリンやピアノより大きな弦楽器
- 4 魚佃に里と書く魚
- 5 綾(わ)れ鯛にお似合いです
- 6 ーニタカ三ナスピ
- 7 振りむいた膝やあかぎれに塗ります
- 8 浅草寺の表参道にあるー商店街
- 9 今より前の時点
- 10 てこのーを利用して重い物を動かした
- 11 グーとパーではパーの方
- 12 英語ではkingと買います

先月号の答え

パズル? 頭の体操



解答 A B C D E
ク リ ス マ ス

J Aのあゆみ 12月

- 2日 第3四半期監事監査（～5日）
- 3日 J A女性部愛別支部食育活動（～5日愛別小学校）
- 愛別農業青色申告会税務研修会もぎたて市会議（愛別）
- 第3回上川中央部J A将来構想検討委員会
- 6日 J A上川地区女性協議会研修大会
- J A監事協議会代表者会議
- （J A）
- 10日 上川地区農事組合長会議
- 愛別町米麦生産振興協議会酒蔵訪問
- 11日 第4回農家経済対策委員会
- 13日 胡瓜・米なす生産部会会議
- 17日 J A役員推薦会議
- 愛別米麦協議会役員会
- 20日 第3回J A女性部愛別支部役員会
- 23日 第11回定例理事会
- 24日 上川地区農協酪農・青果・米対策委員会
- （J A）
- 26日 上川中央部J A将来構想検討委員会役員会
- J A懇談会（愛別地区座談会）
- J A懇談会（上川地区座談会）
- 27日 仕事納め（訓辞）
- 30日

組合員のうごき

（令和元年 11月29日現在）

総組合員数	2,343名
正組合員数	525名
うち団体数	33団体
准組合員数	1,818名
うち団体数	61団体

第10回定例理事会

令和元年11月29日開催

- 1 ■報告事項
 - 1 組合員の脱退について
 - 12名の脱退について報告した。
 - 2 農家経済対策委員会の内容報告について
 - 11月15日開催の第3回農家経済対策委員会の顛末について報告した。
 - 3 固定資産の取得について
 - 2件の固定資産の取得について報告した。
- 1 ■議事
 - 1 組合員の相続について
 - 1名の相続加入が承認された。
 - 2 組合員の加入報告並びに組合員資格について
 - 1名の相続加入者の資格について承認された。
 - 3 組合員の資格変更について
 - 2名の資格変更について承認された。
 - 4 臨時給与の支給基準について
 - 12月支給予定の臨時給与について支給基準等が承認された。
 - 5 第3四半期見直し計画について
 - 10月末実績に基づいた見直し計画について承認された。
 - 6 令和元年産そば出荷契約金に係る返還口の延長について
 - 返還日の変更が承認された。
 - 7 規程の部修正について
 - 1件の改正内容を説明し、承認された。
 - 8 資金の融資について
 - 1件の融資案件について審議の結果、承認された。
 - 9 理事に対する資金の融資について
 - 2名の理事に対する融資案件について、該当理事退席のもと、審議され承認された。
 - 10 令和2年度営農計画書の審査方針並びに基準について
 - 営農計画書作成に伴う審査方針並びに基準単価などが承認された。
 - 11 ハウスリース資産の取得貸付について
 - 7件の申込内容について承認された。
- 1 ■追加議案
 - 1 役員推薦会議規程に基づく理事会推薦委員の選任について
 - 大村理事を選任する事を決定した。
 - 2 令和元年産飼料用米に係る仮渡りについて対象数量及び仮渡単価に基づく仮渡金
 - 対象数量に対する仮渡金について承認された。
 - 3 平成31年度資産評価額の設定について
 - 理事会前に開催された資産評価委員会の結果に基づき、原案とおり承認された。

未来を拓く協同組合 JAと農業



世界の課題「食料安全保障」

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」では、「飢餓をゼロに」を目標の一つに掲げました。このことに象徴されるように、命に直結する食料で人々が困ることがないようにする食料安全保障は、世界に共通する課題です。

日本は食料の多くを海外から輸入しています。そのため、世界的な人口増加による食料需要の増大や、気候変動による生産減少などが国内の食料供給に影響を及ぼす可能性があり、国民の不安も高まっています。

将来にわたって食料を安定的に確保していくには、国内の農業振興を通じて食料自給率を高める必要があります。JAグループは、自己改革の目標の一つとして「農業生産の拡大」を掲げ、その実現に向けて営農・経済事業の強化に従来に増して力を入れています。また、農業振興を地域全体で後押しするために、准組合員等の地域農業の応援団化にも取り組んでいます。

語句解説

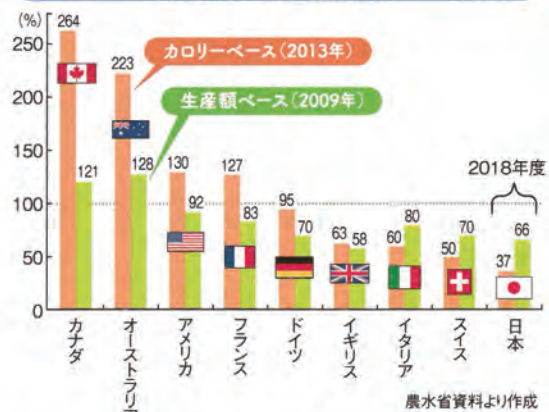
【食料自給率】(しょくりよじきのうりつ)

食料自給率は「国内の食料消費が、国産でどの程度賄えているか」を示す指標。わが国の食料自給率は2018年度、カロリーベースで37%(前年度から1ポイント減)の過去最低となりました。これは主要先進国の中でも最低水準です。生産基盤も弱体化しており、直近5年間をみると耕地面積は毎年2.3万ヘクタールずつ減り、農業就業人口は約59万人減少しています。

食料安全保障とは

全ての人がいかなる時にも、活動的で、健康的な生活に必要な食生活上のニーズと嗜好(しこう)を満たすために、十分で安全かつ栄養ある食料を、物理的、社会的および経済的にも入手可能であるときに達成される状況。～国連食糧農業機関(FAO)ほか～

主要先進国の食料自給率



耕そう、大地と地域のみらい。



焼き茶漬
牛カルビ

今日の
オススメ



材料(2人分)

牛カルビ	50g
塩	少々
ご飯	茶わん1膳分
昆布茶	小さじ1/2
刻みのり	適宜
小ネギ	適宜
おろしワサビ	適宜

だし

かつおだし	150ml
薄口しょうゆ	小さじ1/2
塩	少々

作り方

- (1) だしの材料を鍋に合わせて入れ火にかけ沸かす。だしは注ぎ口の付いた器(急須)に入れる。
- (2) 茶わんにご飯を盛り付け、昆布茶を振る。
- (3) フライパンをよく熱し、軽く塩をしたカルビをカリッと焼き上げ(2)にのせ、(1)を注ぎ、上におろしワサビ、刻みのり、小ネギをのせて出来上がり。



牛カルビはある程度脂が多いほど、だしに溶け出しうま味が増す。

愛別SSの日曜営業時間短縮について

日頃より愛別給油所をご利用いただき誠に有り難うございます。

誠に勝手ではございますが、年々日曜日の給油所利用者が減少していることから、営業時間の見直しをさせていただきます。

組合員並びに、お客様には大変ご不便をおかけしますが、何卒よろしくお願い致します。

記

期 間 令和2年1月12日
～2月23日の日曜日
営業時間 8時30分～12時30分

1月31日(金)棚卸による
営業時間変更のお知らせ

事業年度末の棚卸のため、営業時間を変更させていただきます。

皆様にご不便をおかけしますが、ご理解よろしくお願い致します。

○1月31日(金)

- ・資材店舗(本所・支所)・農機センター
休 業
- ・ホクレン給油所(愛別・上川)
17:00 まで短縮営業